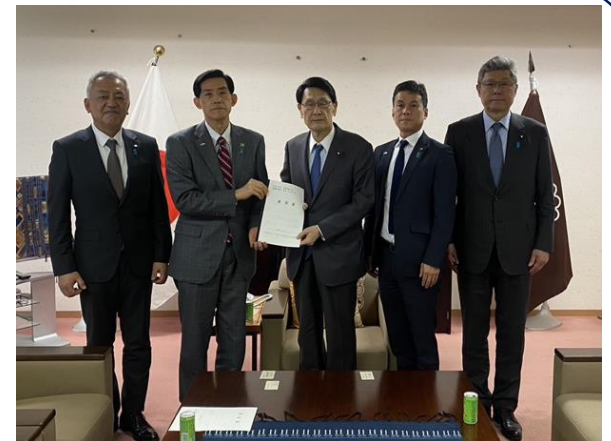


北陸新幹線小浜・京都ルート早期実現小浜市民協議会で中央要望を行いました 福井県知事と小浜・京都ルートの早期着工・整備に向けた意見交換を行いました

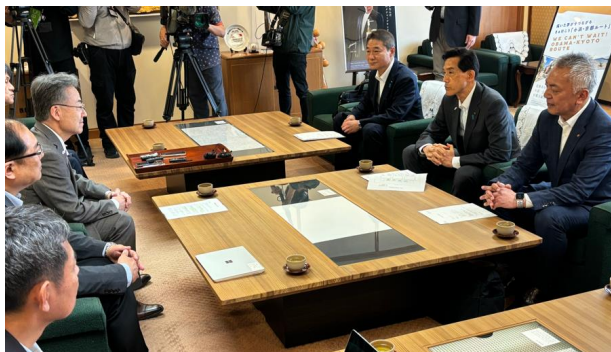
4月26日(金)、東京都内において、当市民協議会で中央要望を行いました。

当市民協議会からは、松崎会長、藤田副会長、井田副会長が出席し、自民党の渡海政調会長や国土交通省、鉄道運輸機構などに対し、要望書を提出しました。

要望では、「敦賀・新大阪間の環境影響評価を迅速に進め、北陸新幹線事業推進調査を早期に完了するとともに、令和6年末までの駅位置・詳細ルートの公表および令和7年度当初に認可・着工を行い、1日も早い全線開業を実現すること。」「小浜市附近の駅位置の選定にあたっては、舞鶴若狭自動車道等とのアクセスが容易であり、且つ駅周辺のまちづくりを進めるための広いスペースを確保できるよう考慮すること。」「貸付料の算定期間延長や国費の大幅な増額等により整備財源を確保するなど、着工5条件の早期解決を図り、開業までの期間を最大限短縮すること。」「JR小浜線は特急が運行されておらず、また、新幹線開業により旅客輸送量が著しく低下する路線でないため、敦賀・新大阪間の整備に伴う並行在来線には該当しないことを確認すること。」の4項目を求めました。渡海政調会長からは、「国家プロジェクトとして、高い位置づけを持って進めていく。」とのコメントがありました。



▲渡海政調会長に要望書を提出



▲面談する杉本知事と松崎市長、井田会頭

5月8日(水)、小浜市の松崎市長と小浜商工会議所の井田会頭が福井県庁を訪れ、杉本福井県知事と、敦賀以西(小浜・京都ルート)の早期着工・整備に向けた意見交換を行いました。

お互いに、駅位置・詳細ルートの公表が近づいているとの感触を示し、今年が大事な年であるとの認識を杉本知事と共有しました。

松崎市長は「オール小浜、オール嶺南体制で活動していく」と意気込みを伝え、井田会頭は「北陸が一丸とならないといけない。そのためには駅位置の確定が必要だ」と強調しました。

杉本知事は「沿線全体で声を上げていきたい」と述べ、一緒に要望活動を強めていくことを確認しました。